

どすこし かわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

「おもちゃドクター」

今年のカレンダーも最後の1枚になりましたね。12月といえばクリスマス。

クリスマスといえばプレゼントのおもちや。今回は、そんなおもちやを手術（修理）する「おもちやドクター」の石黒孝一さんにお話を伺ってきました。

☆おもちゃドクターの活動

文花子育てひろばでは毎月一回第二日曜日、両国子育てひろばでは二か月に一回「おもちゃ病院」を開設し、事前受付または当日持ち参りいただいたおもちゃを修理しています。基本的にボランティアですので、部品代等の実費だけを依頼者の方からいただいています。



石黒孝一さん訪問

☆主な診療（依頼）内容

木製、プラスチック、金属製など、様々な種類のおもちやの修理依頼が寄せられています。修理時間も内容によりますが、簡単なものであれば3分位で完了します。一方、機械の内部修繕などは大手術になってしましますね。私の本業は歯科技工士なので、その知識や、技術を活かしています。手術道具も本業のものを使っています。作業道具も、口に入れても安全な素材なので、おもちやドクターにはうってつけです。

ちなみに、男の子はプラレール、女の子は人形の修理依頼が多いのも特徴的です。

小学3・4年生くらいの男の子になると、自分で分解してしまったものを持ち込んできたりします。（笑）



んのお母さんからの依頼で、鳴き声の出る犬のおもちやを修理しました。

赤ちゃんのお気に入りだつたらしく、修理を完了して

返そうとすると、手足をバタバタさせながら喜んでくれ、その様子を眺めるお母さんの嬉しそうな笑顔とともに、とても印象に残っています。後日その方から直筆の心温まる御礼の手紙もいただきました。

この活動も13年目になります。が、親御さん、お子さんなどから御礼の手紙や手作りのプレゼントをもらうことは、励みになります。

「ありがとう」の感謝の気持ち、そして子ども達のとびきりの笑顔に出会うことが、おもちゃドクターのやりがいだし、やっててよかったと思う瞬間ですね。

☆今後の夢は？

現在 63 歳ですが、今後歳を重ねていっても、子ども達を笑顔にできるように、おもちゃドクターを続けていきたいと思っています。

実は最近、私にも「助手」ができましたので、もう少し幅広く活動していけるかな、と期待しています。

また、現在墨田区内で活動しているドクター達と、チームを組んで、各人の得意分野を活かせるような、常設のおもちゃ病院が開設できたらなと思っています。それが夢ですね。

☆取材を終えて

「おもちゃ病院」を見学しました。動かなくなったり、歌を唄わなくなったり、お人形等が持ち込まれていました。

それらを次々と直していきます。動き出したり、歌が聞こえてきたりすると、歓声があがり、「ありがとう」の声と笑顔が広がります。子ども達に物の大切さも伝えているようです。

掃除

年末になり、大掃除が気にかかる時期です。ほこりや花粉、カビが室内にたまってしまおうと、体を守る仕組みである免疫が過剰に反応して、くしゃみや鼻水などのアレルギーが起きることもあります。

掃除は人によってやり方や工夫があると思いますが、一緒に見直してみませんか。

ほこりは人が少し動くだけで舞い上がってしまいます。舞い上がった直後より、落ち着いた時の方が効果的です。そして、高いところから低いところへ順番にしましょう。はじめに掃除機をかけると、排気がある場合はほこりが舞い上がってしまうので、雑巾や市販のワイパーで拭き掃除からはじめましょう。畳は目に沿うようにします。

換気については二か所以上の窓をあけて空気の通り道を作るのが理想です。換気扇や空気清浄機を活用することもできます。寝室の押し入れやクローゼットは天気の良い日になるべく開

放して換気ができるといいですね。ダニは湿度を好むので、布団はなるべく乾燥させるようにします。干した時には強くたたかずに粘着テープのついたローラーでほこりを落とすようにしましょう。

リビングでは、床と並行な場所、棚や机、照明、テレビ、パソコンなどは、ほこりがたまり

やすいです。床は、掃除のしやすいフローリングのほうがアレルギー対策になります。じゅうたんの場合は、五十cmの幅で二十秒程度かけてじっくり掃除機をかけましょう。ソファやぬいぐるみもほこりやダニがたまりやすくなります。

浴室や洗面所は使った流れで掃除しておきましょう。浴槽や壁を洗い、換気します。スポンジやブラシを近くに置いておき、

こまめに手入れします。エアコンの空気フィルターや加湿器もカビが発生しやすいので要注意です。取り扱い説明書を読みながら手入れを行いましょう。



手軽にクッキング39

<12月の鍋>

みぞれ鍋

<材料2~3人分> (1人分: 約280kcal)

大根	2~300g
鶏もも肉	1枚
水菜	適宜
白菜	適宜
エノキ茸	適宜
生しいたけ	適宜
油揚げ	1枚



<調味料>

水	3カップ
酒	大さじ2
塩	小さじ1
しょう油	小さじ2
砂糖	ひとつまみ

<薬味> ゆず・ポン酢・七味・万能ねぎ

<作り方>

1. 大根はおろしておき、おろしとおろし汁にわけ
2. 水菜・白菜・キノコは食べやすい大きさにカット
3. 油揚げは大きい千切り
4. 鶏肉は一口大そぎ切り (豚肉でもOK)
5. 鍋に水を入れ、調味料とおろし汁を加えて野菜を煮込む
6. 油揚げと鶏肉を加え煮込む
7. 煮えた頃合いをみて、大根おろしを加える
8. ひと煮たちしたら、器に盛り付ける
9. 好みの薬味でいただく
10. べは、うどんやごはんを入れてどうぞ!

* 「みぞれってな〜に?」「雨と雪が混ざって降るのよ」「じゃあ、「み」が雨で、「ぞれ」が雪なの?」子供との会話を思い出します。よいお年を!

(協力: 食育支援部)

「今年、うれしかった事」

大横川 水馬

秋に買った宝くじの五等が当たった。下一桁が合えばいいのだから、十枚セットを買えば必ず一枚は当たる。五等は末等とも呼ばれ、当選というのもおこがましい。ハズレに等しい。

末等の券は小銭に替えられるから捨てずにとっておく。そして歳の暮れになると売り場に行き、その九倍のお金を足して、新たに宝くじを買ってしまう。

お金をドブに捨てる結果となることを百も二百も承知しつつ、「もしかして当選したら……」という期待に胸を膨らませながら、懲りずに買う。

一割返しなんか無いほうがいい。末等券は胴元の陰謀だ。畏だ。思うツボに嵌まっている。楽をして得られるものなんて何も無い筈だ。そう思っているのも誘惑に負けて買う。悪循環を断ち切れないのが情けない。

「ギャンブル学の研究者によれば、BIGなど宝くじの購入者は低所得者層が多い」新聞にそ

うあった。何とでも言ってくれ。そんな学問があつて研究者が富豪なら、すぐにでも学びたい。

さて、今年一年を振り返ってみたい。自然災害が多かったように思う。ゲリラ豪雨や、台風に伴う土砂災害などだ。

悪い事とか、嫌な事。ムカつく事とか、悲しい事。それらを思い出すのは容易だが、何か、良い事は無かつただろうか。

文化遺産登録、東京オリンピック招致、……。さまざまな話題があつた。私にとつてうれしかった事は何だろう。

この「どすこいかわら版」になつて、一年と少し経つた。エッセイを載せていただくようになって、一年と少し経つた。原稿を採用された当初は、もちろんうれしい気持ちがあつた。

でもそれよりも、しつかり書けるのか、読んでもらえるのか、いつまで続けられるのか。そんな事の方が気がかりだつた。今でもその不安感は衰えてない。

プロの作家が書いた週刊誌等のエッセイを読むと、毎週、毎週よく続けられるものだと感心する。同時に小説も書いていたからすごい。素人にとつ

ては月に一度でさえ青息吐息だ。あ、すみません。愚痴が長くなりました。

この「かわら版」を手にとつていただき、ありがとうございます。

「何事も経験だ。体験だ。その積み重ねで、何か書きたいことが浮かぶだろう」そう思つて、旅行などの誘いは歓迎した。テーマが見つかるだろうと考えてのこと、これは正解だつた。

皆さんも日頃考えている事、見聞きした事、喜怒哀楽、伝えたい事等があるでしょう。それを書いて、ここに投稿してはいかがでしょう。

「大横川が書いたエッセイはつまらん。もう要らない」

この一年、そう言われなかったのが、私のうれしい事です。えつ、私の耳に届かなかっただけのことですか？

もう一つありました。

この秋、息子が結婚しました。挙式は来年の予定だそうです。親としての感慨はまだ沸いてこないのですが。まあ、そんなうれしい事もありました。

くる年は、良い事がいっぱいあつてくれ。

1

☆ 墨田区では毎月1日、15日に地域のイベント情報等をパソコンメールで希望者にお送りしています。ご希望の方は、お名前をメールでお知らせください。件名にメルマガ希望と記入してください。

tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

「シニア人材バンク登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか？

平成25年度 第5回 生きがい講座

これだけは知っておこう 人生のたたみ方 終活セミナー

日 時：平成26年1月30日（木）

午後1時30分～3時30分

場 所：すみだ女性センターホール（墨田区押上2-12-7-111）

定 員：50名 対 象：おおむね55歳以上

1 生前に済ませておきたい準備

講 師：汲田 健氏

（死後事務委任契約や遺言相談の専門家）

2 これからのお葬式とお墓はどうする？

～家族葬と専用式場の事例紹介～

講 師：二村 祐輔氏

（日本葬祭アカデミー教務研究室主宰）

申込み・問合せ：てーねん・どすこい倶楽部

電話 5631-2577 FAX 5631-2578

受付時間：平日午前10時から午後4時

主 催：墨 田 区

企画・運営：NP0法人てーねん・どすこい倶楽部



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NP0法人てーねん・どすこい倶楽部
〒131-0044 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
（平日午前10時～午後4時）

メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
<http://members2.jcom.home.ne.jp/tehnendosukoiclub/>

今年も終わろうとしています。一年を振り返って、気象災害が多い年だったように思われます。まず、一年間元気に過ごせたことを感謝します。

編集後記